



【学校教育目標】

児童生徒の心身の発達段階や病気・障害の状態及び特性等に応じた教育を行うことにより、自分らしく生きる力（「健やかな心と体」「豊かな人間性」「確かな学力」「協働と社会性」）を身に付け、自分なりの社会参加ができる児童生徒を育成する。

信自希 校長
愛律望 教訓

【めざす児童生徒の姿】

- 学ぶことに興味・関心・意欲をもつ児童生徒
- 他人の意見を聞き、多様な考えを受け入れる児童生徒
- 自分らしさや長所を大切に、意見や気持ちを伝える児童生徒
- 夢や憧れをもち、自分の良さを生かしながら課題に取り組む児童生徒

育成を目指す資質・能力

【豊かな人間性：学習及び社会生活の基礎となる資質・能力】

- ・教科横断的に必要となる言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力
- ・自分の考えをもち自己選択・自己決定する力
- ・相手への思いやりや感謝の気持ちで接する態度
- ・多様な考えや見方を受け入れることにより新たな考えを生み出す力
- ・将来への夢や憧れをもち、自己実現に向けた課題を解決しようとする力

【健康・体力：現代的な課題に対応するための資質・能力】

- ・健康で規則的な生活を送る習慣や態度
- ・自然に親しみ、自然や生命を大切に作る心や態度
- ・事故や災害などから身を守るための知識や態度
- ・地域に親しみ、地域と関わりながら生活する態度や力
- ・スポーツや文化に親しむ態度や習慣
- ・情報機器等を適切に活用し、必要な知識や情報を取得し選択する力

何を学ぶか
教育課程の編成

- ・各教科の目標や内容と関連した生きて働く知識・技能
- ・各教科の特質に応じた見方・考え方
- ・各教科等横断的に必要な言語能力・思考力・判断力・表現力
- ・地域生活に必要な知識及びマナー、コミュニケーション力
- ・自然や生命を尊重し、他者を思いやる豊かな心

何ができるようになるか

【児童生徒の実態】

- ・生活リズムの乱れ
- ・学習空白及び学習の遅れ、学習意欲の欠如
- ・学習の基礎となる体験や体力不足
- ・自己理解の低さや困難
- ・認知特性や偏り等による学習内容定着の困難
- ・自己肯定感の低下による失敗や、新しい経験・課題への抵抗と自信の欠如
- ・コミュニケーション力不足や社会性の低さ
- ・前籍校及び本校での不適応や不登校

どのように学ぶか
教育課程の実施

- ・学力や興味・関心に応じた指導内容及び方法
- ・認知特性や困難さに対応した教材・教具の工夫
- ・学びの履歴を踏まえた学習空白等への対応
- ・病気や障害による困難を改善、克服するための指導
- ・主体的・対話的で深い学びを得るための学習内容及び指導方法
- ・学習のねらいや進め方がわかり、安心して取り組める学習環境

子どもの自己形成をどのように支援するか

- ・一人一人の子どもと向き合う時間を確保し、児童生徒との信頼関係を築きながら学習及び生活面での困難さや心理面の理解に努める。
- ・教職員間の協力により、実態やニーズに応じて、個別指導や集団指導、習熟度別指導などの指導体制を工夫改善しながら個に応じた指導の充実を努める。
- ・主治医や心理士、スクールカウンセラーや外部専門家と連携し、助言や指導を受けながら実態やニーズに応じた指導、支援を行う。
- ・担任間や学部、寄宿舎等を含め学校全体で子どもの実態や課題について共通理解を図り、組織的、協同的に対応する。

何が身に付いたか
学習評価を通じた学習指導の改善

- ・各教科の学習を通じた基礎的な知識や技能
- ・授業や活動に見通しをもち、主体的に参加する意欲や態度
- ・自分の課題や苦手を理解し、克服しようとする意欲や態度
- ・話合いや協力をしながら共に課題に取り組む力や態度
- ・自分の意見や考えをもち、主体的に選択し、決定する力や態度

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭、地域との連携・協働

○指導体制の充実

- ・カリキュラム・マネジメントの視点を踏まえた組織的な教育課程編成
- ・主体的・対話的で深い学びを実践するための授業改善の取組
- ・客観的で根拠のある指導目標及び評価のための検討会や研修
- ・個別的教育支援計画及び個別の指導計画と連動した個に応じた指導・支援内容及び方法
- ・学びの連続性、系統性、一貫性を実践するための教科等部会の充実
- ・キャリア教育及び進路指導計画の見直しと指導の充実
- ・学校評価を活用した学校運営及び教育活動の見直しと改善

○家庭、地域、福祉、医療との連携

- ・体験活動を中心とした地域との交流及び共同学習
- ・家庭及び地域生活や家族支援のための福祉機関との連携や情報共有
- ・心身の健康に関する医療機関及び主治医との連携や情報共有・支援連携
- ・保護者面談や保護者会、家庭訪問等による指導
- ・前籍、転学先または交流校との連携や情報共有
- ・スクールカウンセラー、外部専門家等を活用した指導や支援の充実
- ・進学及び転学先の学校や福祉事業所等との連携・ネットワーク作り

安心・安全を守る

- ・避難訓練の計画的な実施とマニュアルの見直し
- ・緊急時、不穏時における職員研修や訓練の充実
- ・学校生活及び登下校時の安全指導
- ・警察、消防、スクールサポーター、市内小中等高等学校との連携
- ・外部講師等によるメディア・安全指導に関する講話研修の実施
- ・自治会や近隣施設等と連携した避難訓練実施や災害時の対応
- ・災害時の対応マニュアルや施設・設備等の整備

開かれた学校づくり

- ・学校公開や「長崎っ子の心を見つめる教育週間」の開催による理解啓発
- ・学校見学及び教育相談の実施によるセンター的機能の充実
- ・大村市教委、幼保小中等高等学校との連携による地域支援体制の充実
- ・自治会や近隣住民に対する学校教育の理解・啓発
- ・地域の小中等高等学校及び教育機関との交流及び共同学習の実施
- ・専門家や卒業生、老人会等の人材を活用した講話や授業